

水産物の生産・流通・販売と 六次産業化

話題提供者：田中智美
(島根大学汽水域研究センター特任助教)

日時：2014年11月7日(金) 16:45~17:45
場所：島根大学汽水域研究センター2階セミナー室(201)

【発表の概要】

水産資源の低迷、漁業者の高齢化、漁業所得の伸び悩みなど水産業は様々な課題に直面している。一方で、漁業を新たな地域産業創出の場ととらえ多角的な視点から活用しようとする動きがみられるようになってきている。こうした動きは、水産業における六次産業化という形で具体化されてきており、その取り組みは加工、直売、レストラン、観光レジャーなど様々である。元来水産業は漁業だけでなく加工、流通や販売など多様な産業を内包しており、水産物の六次産業化は本来の水産業の形態であるともいえる。しかし水産物は、生産、流通、販売の様々な段階で農林畜産物とは異なる特性を抱えている。そこで今回は水産の概要とその特性についてまとめ、六次産業化の取り組み事例とともに紹介する。

上図：6次産業化の概念図(水産庁図で見る日本の水産)
下図：隠岐郡海士町のCAS冷凍と商品(海士町HP)

